

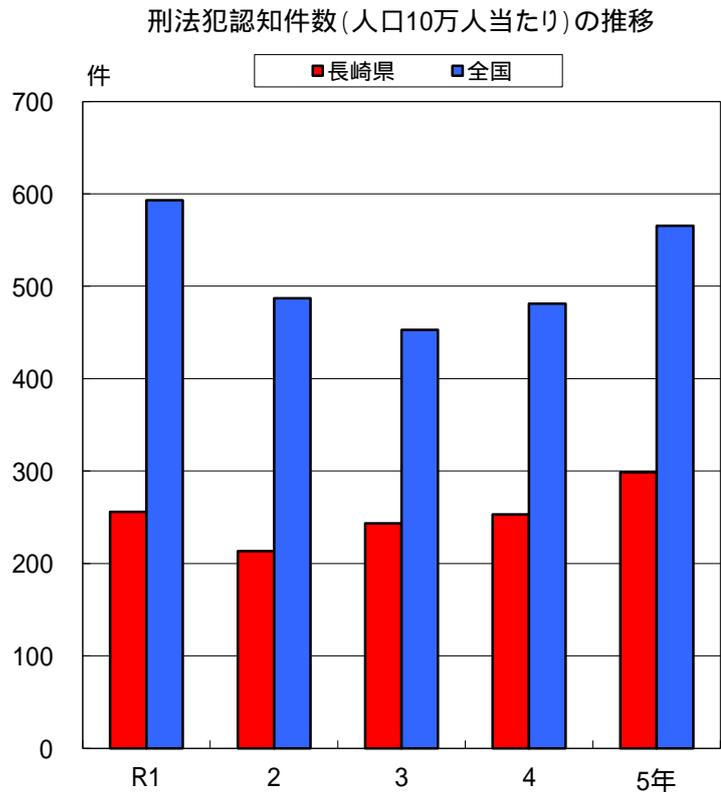
96 . 刑法犯認知件数

(単位:件)

順位	都道府県名	人口10万人当たり 令和5年(2023年)
1	27 大阪府	914.6
2	10 群馬県	700.7
3	8 茨城県	699.8
4	28 兵庫県	694.0
5	11 埼玉県	677.3
6	40 福岡県	652.3
7	13 東京都	632.5
8	9 栃木県	628.9
9	23 愛知県	626.4
10	37 香川県	622.4
11	47 沖縄県	621.5
12	21 岐阜県	617.2
13	12 千葉県	600.0
14	24 三重県	576.5
	全 国	565.6
15	25 滋賀県	552.5
16	38 愛媛県	527.3
17	34 広島県	518.2
18	4 宮城県	511.5
19	33 岡山県	499.8
20	39 高知県	477.0
21	14 神奈川県	475.1
22	41 佐賀県	471.8
23	26 京都府	468.8
24	7 福島県	453.0
25	29 奈良県	451.7
26	30 和歌山県	451.7
27	16 富山県	447.1
28	22 静岡県	439.1
29	1 北海道	436.6
30	46 鹿児島県	434.0
31	17 石川県	430.6
32	19 山梨県	422.8
33	15 新潟県	407.8
34	2 青森県	406.5
35	45 宮崎県	404.3
36	31 鳥取県	390.8
37	20 長野県	387.7
38	36 徳島県	384.6
39	18 福井県	381.5
40	43 熊本県	361.3
41	35 山口県	322.6
42	32 島根県	301.1
43	42 長崎県	298.8
44	6 山形県	290.4
45	44 大分県	273.0
46	5 秋田県	263.0
47	3 岩手県	245.5

全国で5番目に少ない長崎県

令和5年の本県の刑法犯認知件数は3,786件で前年を542件上回ったが、全国の565.6件を266.8件下回る、全国43位であった。



資料出所・調査時点・算出方法等

資料出所

警察庁「犯罪統計」
総務省「人口推計」

調査時点

令和5年

算出方法等

刑法犯認知件数(人口10万人当たり) =
刑法犯認知件数 ÷ 総人口 × 10万

97. 交通事故発生件数

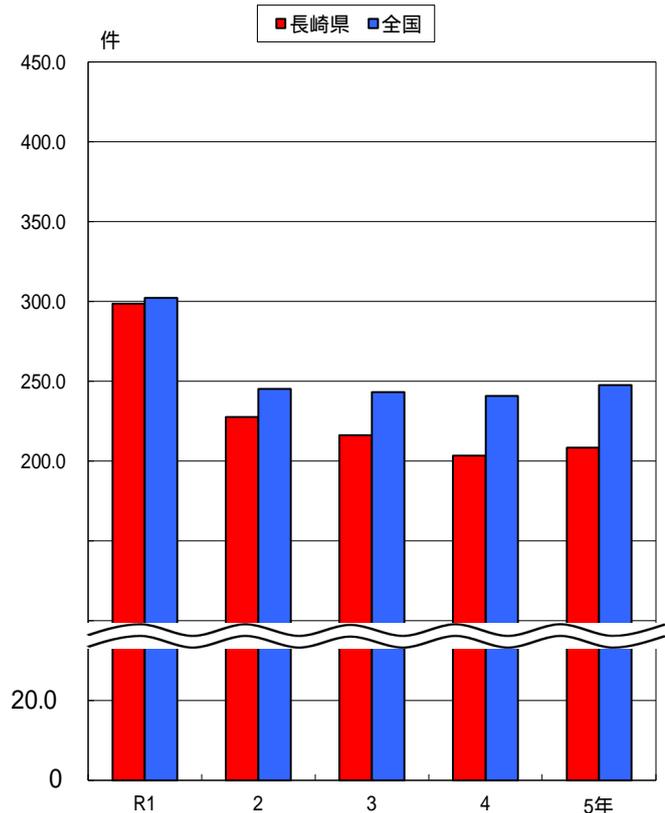
(単位:件)

順位	都道府県名	人口10万人当たり 令和5年(2023)
1	10 群馬県	527.8
2	22 静岡県	524.9
3	41 佐賀県	395.5
4	40 福岡県	395.3
5	45 宮崎県	334.7
6	37 香川県	328.5
7	23 愛知県	328.3
8	28 兵庫県	303.2
9	27 大阪府	296.1
10	36 徳島県	285.9
11	33 岡山県	279.5
12	6 山形県	270.9
13	19 山梨県	265.4
14	20 長野県	249.8
	全国	247.6
15	14 神奈川県	237.0
16	11 埼玉県	231.9
17	8 茨城県	229.7
18	13 東京都	222.8
19	2 青森県	221.1
20	12 千葉県	216.8
21	42 長崎県	208.3
22	44 大分県	203.7
23	47 沖縄県	201.9
24	9 栃木県	200.7
25	29 奈良県	200.7
26	25 滋賀県	196.7
27	43 熊本県	193.8
28	46 鹿児島県	191.4
29	16 富山県	186.5
30	17 石川県	185.7
31	1 北海道	178.3
32	4 宮城県	178.1
33	35 山口県	174.9
34	34 広島県	174.1
35	24 三重県	172.3
36	7 福島県	164.9
37	38 愛媛県	163.8
38	26 京都府	160.4
39	21 岐阜県	159.3
40	30 和歌山県	151.9
41	39 高知県	146.3
42	18 福井県	132.5
43	3 岩手県	129.2
44	15 新潟県	128.0
45	5 秋田県	126.4
46	31 鳥取県	122.1
47	32 島根県	116.4

全国を下回る本県の交通事故

本県の令和5年の人口10万人当たり交通事故発生件数は、208.3件(全国247.6件)で全国21位となっている。

交通事故発生件数(人口1万人当たり)の推移



資料出所・調査時点・算出方法等

資料出所

県警察本部「交通統計」
総務省「人口推計」

調査時点

令和5年

算出方法等

交通事故発生件数(人口10万人当たり) =
交通事故発生件数 ÷ 総人口 × 10万

備考

「交通事故」とは、道路交通法第2条第1項第1号に規定されている道路上において、車両(自動車・原動機付自転車・軽車両・トロリーバス)、路面電車及び列車の交通によって起こされた死亡又は負傷を伴った事故(人身事故)をいう。

98. 交通事故死者数

(単位:人)

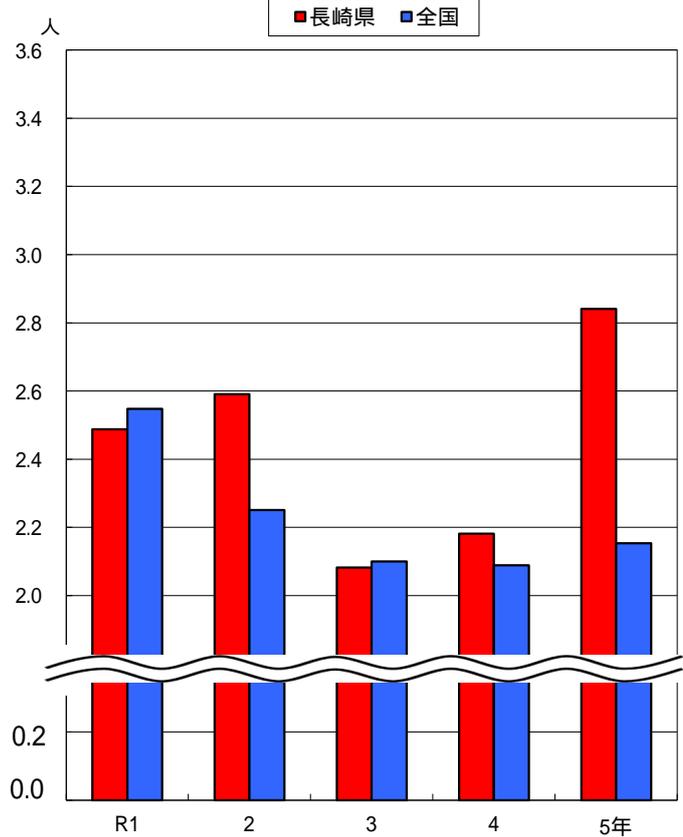
順位	都道府県名	人口10万人当たり 令和5年(2023)
1	36 徳島県	4.0
2	24 三重県	3.8
3	2 青森県	3.8
4	19 山梨県	3.6
5	37 香川県	3.6
6	5 秋田県	3.5
7	30 和歌山県	3.5
8	39 高知県	3.5
9	32 島根県	3.4
10	38 愛媛県	3.3
11	6 山形県	3.3
12	8 茨城県	3.3
13	7 福島県	3.1
14	9 栃木県	3.1
15	16 富山県	3.1
16	25 滋賀県	3.1
17	3 岩手県	3.0
18	44 大分県	2.9
19	45 宮崎県	2.9
20	34 広島県	2.8
21	42 長崎県	2.8
22	35 山口県	2.7
23	18 福井県	2.7
24	33 岡山県	2.7
25	31 鳥取県	2.6
26	21 岐阜県	2.6
27	47 沖縄県	2.6
28	15 新潟県	2.6
29	46 鹿児島県	2.6
30	1 北海道	2.6
31	17 石川県	2.5
32	10 群馬県	2.5
33	26 京都府	2.3
34	43 熊本県	2.2
	全 国	2.2
35	20 長野県	2.1
36	4 宮城県	2.1
37	12 千葉県	2.0
38	40 福岡県	2.0
39	29 奈良県	2.0
40	22 静岡県	2.0
41	23 愛知県	1.9
42	28 兵庫県	1.9
43	27 大阪府	1.7
44	11 埼玉県	1.7
45	41 佐賀県	1.6
46	14 神奈川県	1.2
47	13 東京都	1.0

人口10万人あたり交通事故死者数は2.8人

本県の令和5年交通事故死者数は、36人で前年より8人増加した。全国では2,678人で前年より68人増加した。

人口10万人あたりの交通事故死者数は、本県は2.8人で、全国21位となっている。

交通事故死者数(人口10万人当たり)の推移



資料出所・調査時点・算出方法等

資料出所

県警察本部「交通統計」
総務省「人口推計」

調査時点

令和5年

算出方法等

交通事故死者数(人口10万人当たり) =
交通事故死者数 ÷ 総人口 × 10万

備考

交通事故死者数は、交通事故の発生後24時間以内に死亡した人の数。

99. 火災発生件数

(単位:件)

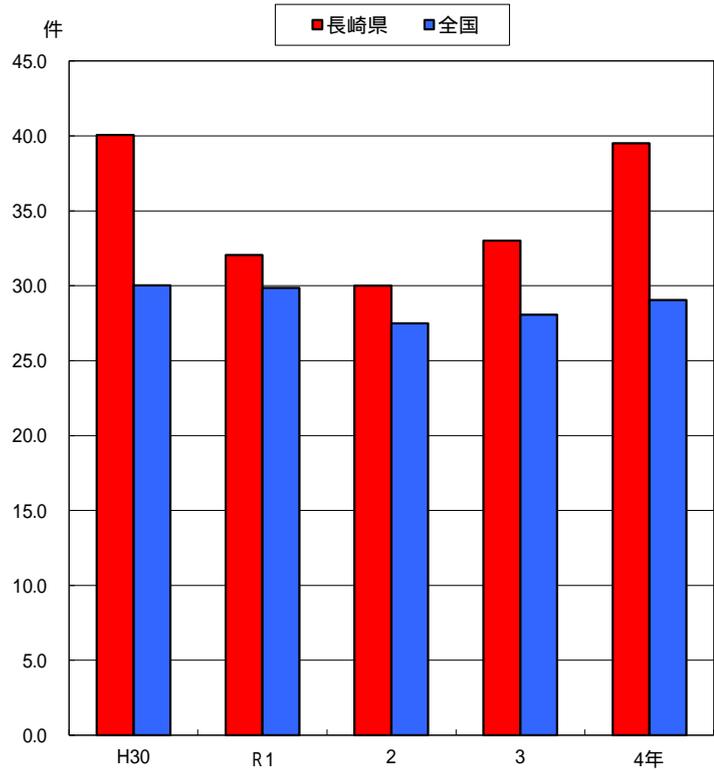
順位	都道府県名	人口10万人当たり 令和4年(2022)
1	44 大分県	50.4
2	39 高知県	46.5
3	35 山口県	45.9
4	45 宮崎県	44.5
5	32 島根県	44.4
6	41 佐賀県	41.2
7	43 熊本県	40.6
8	2 青森県	40.3
9	37 香川県	40.3
10	42 長崎県	39.5
11	19 山梨県	39.4
12	30 和歌山県	39.0
13	33 岡山県	38.8
14	8 茨城県	38.4
15	46 鹿児島県	38.3
16	20 長野県	36.4
17	38 愛媛県	36.3
18	31 鳥取県	35.5
19	24 三重県	35.4
20	10 群馬県	34.2
21	5 秋田県	33.8
22	9 栃木県	33.5
23	36 徳島県	33.0
24	21 岐阜県	32.6
25	1 北海道	31.9
26	7 福島県	31.8
27	34 広島県	31.8
28	25 滋賀県	30.4
29	12 千葉県	29.3
	全 国	29.1
30	28 兵庫県	29.0
31	3 岩手県	28.9
32	29 奈良県	28.9
33	13 東京都	28.3
34	40 福岡県	27.7
35	47 沖縄県	27.3
36	6 山形県	27.3
37	4 宮城県	25.7
38	22 静岡県	25.3
39	23 愛知県	24.9
40	15 新潟県	24.0
41	11 埼玉県	23.2
42	18 福井県	22.8
43	27 大阪府	21.0
44	26 京都府	20.8
45	17 石川県	20.8
46	14 神奈川県	20.5
47	16 富山県	15.1

全国を上回る火災発生件数

令和4年中の火災発生件数を見ると、本県は507件、全国では36,314件であった。

また、人口10万人当たりでの火災発生件数は、全国29.1件に対し、本県は39.5件と全国を上回った。

火災発生件数(人口10万人当たり)の推移



資料出所・調査時点・算出方法等

資料出所

総務省消防庁「消防白書」

総務省「人口推計」

調査時点

令和4年

算出方法等

火災発生件数(人口10万人当たり) =

火災発生件数 ÷ 総人口 × 10万

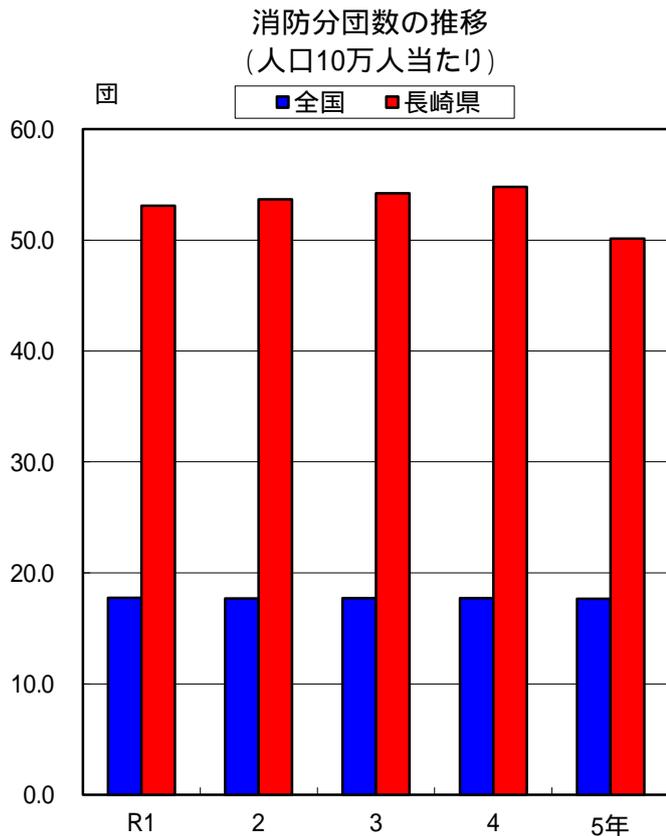
100. 消防分団数

(単位: 団)

順位	都道府県名	人口10万人当たり 令和5年(2023)
1	2 青森県	63.5
2	36 徳島県	60.3
3	42 長崎県	50.1
4	32 島根県	48.8
5	31 鳥取県	41.5
6	46 鹿児島県	40.9
7	39 高知県	39.6
8	44 大分県	38.0
9	3 岩手県	37.1
10	8 茨城県	36.2
11	5 秋田県	36.0
12	43 熊本県	35.0
13	30 和歌山県	34.3
14	7 福島県	32.0
15	18 福井県	31.8
16	6 山形県	31.6
17	16 富山県	31.1
18	20 長野県	29.5
19	35 山口県	28.6
20	38 愛媛県	27.9
21	19 山梨県	27.1
22	37 香川県	25.4
23	15 新潟県	25.3
24	41 佐賀県	25.0
25	24 三重県	25.0
26	21 岐阜県	24.0
27	33 岡山県	23.7
28	29 奈良県	23.3
29	17 石川県	22.5
30	28 兵庫県	22.4
31	10 群馬県	22.1
32	4 宮城県	20.9
33	1 北海道	20.6
34	34 広島県	19.5
	全 国	17.7
35	26 京都府	16.7
36	25 滋賀県	16.4
37	22 静岡県	15.9
38	9 栃木県	14.9
39	40 福岡県	13.9
40	45 宮崎県	13.7
41	12 千葉県	12.2
42	47 沖縄県	8.9
43	11 埼玉県	8.4
44	23 愛知県	7.9
45	14 神奈川県	5.6
46	13 東京都	5.1
47	27 大阪府	4.6

全国3位の長崎県

令和5年の本県の消防分団数は635団で、人口10万人当たりでは50.1団と、全国の17.7団を大きく上回っている。



資料出所・調査時点・算出方法等

資料出所

総務省消防庁「消防白書」
総務省「人口推計」

調査時点

令和5年4月1日(消防分団数)
令和5年10月1日(総人口)

算出方法等

消防分団数(人口10万人当たり) =
消防分団数 ÷ 総人口 × 10万